

平成 20 年 4 月 9 日

土木部	総務室	石川(4111)
	公共工事契約課	中島(4113)
	技術管理課	増田(4460)
		西川(4452)

## 報 道 資 料

「奈良県入札・契約制度改革検討会」での検討結果について（中間報告）

### 1 検討会設置の目的と経緯

相次ぐ県内建設業者の談合事件で公共調達のある方が問われているなか、昨年 9 月には宇陀土木事務所で測量業務発注の際に工務課長が特定の業者に予定価格を漏洩するという不祥事が発生したことから、県ではこれを受けて、公共調達に対する県民の信頼回復を図ることを目的に「奈良県入札・契約制度改革検討会」を 2 月 27 日に設置した。

この検討会では、不祥事が起こったと思われる背景や問題点について、確認された事実だけでなく、土木事務所等の管理職への意見聴取や一般職員へのアンケート調査結果も参考に、事件の再発防止に向けた改善策について、職員の意識や対人関係の問題、入札・契約制度の問題、組織の問題、業務遂行上の問題、執務環境の問題、業界の問題、県の施策の問題といった様々な観点から、具体的な方策の検討を 4 回にわたって重ねてきた。

検討結果を踏まえ、具体的に取り組む項目については以下のとおりである。

### 2 本年度取り組む主な項目

#### (1) 予定価格等の事前公表及び品質確保に向けた取り組み

- ① 測量、設計業務及び全ての建設工事について、予定価格、低入札調査基準価格及び最低制限価格を事前公表。あわせて、事前に施工体制等の確認を行う。
- ② 一般競争入札の拡大（土木は 2 千万円以上→8 百万円以上）
- ③ 電子入札の導入（土木 A 等級から導入、順次対象を拡大）
- ④ 地域要件の変更（管内一括から県内一括へ【A1 等級から順次対象を拡大】）
- ⑤ 総合評価方式の拡充（1 億円以上→5 千万円以上で段階的に拡大【舗装は 1 千万円以上】）

以上は 6 月 1 日から実施

#### (2) 入札事務の一元化

土木部に公共工事契約課を設置し、土木部、農林部、教育委員会及び水道局等の入札事務の一元化を段階的に実施

#### (3) 職員の意識改革

コンプライアンスの意識を高め公務員倫理を確立するため、倫理及び処分に関する規程の整備及び事例集の作成

#### (4) 県職員の再就職

退職した県職員の再就職についての情報を公表

#### (5) 執務環境の改善

建設業者等の執務室への出入りを規制するため、カウンターやロッカーを整備し、打ち合わせコーナーを設ける等執務環境を改善

### 3 引き続き検討する項目

- (1) 不当要求に対する報告制度の整備及びその内容の公表
- (2) 積算業務とその他の業務との分離
- (3) 施工管理検査専任グループの設置
- (4) 会計局所管の物品及び委託業務等の入札・契約業務の一元化
- (5) 退職した県職員の再就職問題として、人材バンクの創設

### 4 ま と め

改善策として早急を実施するもの、また引き続き検討するものについては、定期的に点検を行っていく。

また、更なる改善に取り組むこととし、県民の信頼を得られる入札・契約制度の確立に向けて、今後も不断の努力を行っていく。

#### 添付資料

- ・ 入札・契約手続きの現行制度と改善後の制度の対比表 ..... 資料 1
- ・ 奈良県入札・契約制度改革検討会中間報告 ..... 資料 2
- ・ 奈良県入札・契約制度改革検討会設置要綱 ..... 資料 3
- ・ 入札契約制度の適正化の経緯 ..... 資料 4